

2019年11月12日
(一社) 電子出版制作・流通協議会

プレスリリース

「電子図書館・電子書籍貸出サービス調査報告 2019」発行のお知らせ

報道各位

**公共図書館の電子図書館・電子書籍貸出サービスの状況についてのアンケート調査結果報告、
『電子図書館・電子書籍貸出サービス調査報告 2019』11月20日発行
公共図書館、大学図書館の電子図書館・電子書籍貸出サービスアンケートの結果等を掲載**

一般社団法人 電子出版制作・流通協議会(所在地：東京都千代田区、会長：浅羽信行、以下「電流協」)は、2019年7月から8月にかけて「電子図書館・電子書籍貸出サービスアンケート調査」を全国の公共図書館、大学図書館に実施し、電子図書館・電子書籍貸出サービスの調査結果をまとめた「電子図書館・電子書籍貸出サービス調査報告 2019」を発行いたします。

本調査は、

- (1) 「公共図書館、電子図書館・電子書籍貸出サービスアンケート」について
全国の公共図書館（中央館）1,380館のうち、メール等で連絡がとれる988館に依頼し、420館からの回答を得た結果及び、昨年との比較などを分析いたしました。
- (2) 「大学図書館、電子図書館・電子書籍貸出サービスアンケート」について
また大学図書館においては、学生数3,000名以上の大学237校の国公立大に依頼を行い、147校からの回答をいただきました。
- (3) 今回の報告書では電子図書館サービス事業者8社（図書館流通センター、日本電子図書館サービス、メディアドゥ、丸善雄松堂、ネットアドバンス、学研プラス、紀伊国屋書店、EBSCO Japan）の電子図書館サービスに関する事業内容について掲載しました。

今回の調査、報告書作成につきましては、公益社団法人日本図書館協会及び国立国会図書館の協力をいただきました。

本調査の詳細は、『電子図書館・電子書籍貸出サービス調査報告 2019』（発売：株式会社印刷学会出版部）として発行し、11月20日より発売を開始します。

なお、11月12日から11月14日に開催する第21回図書館総合展（パシフィコ横浜）の会場の有隣堂・樹村房のブースにて先行販売を行います。

書名 『電子図書館・電子書籍貸出サービス調査報告 2019』

編著 : 植村八潮・野口武悟・電子出版制作・流通協議会

発行 : 一般社団法人電子出版制作・流通協議会

発行日 : 2019年11月20日 [初版発行]

発売 : 株式会社印刷学会出版部

価格 : 3,200円 (税別)、判型：B5判、ページ数：218ページ

ISBN : 978-4-87085-236-5

このプレスリリースについてお問合せ等ございましたら、以下の担当までご連絡ください。

【報告書の内容】

(一社) 電子出版制作・流通協議会 担当：長谷川智信
hasegawa@aebs.or.jp TEL 03-6380-8207

【販売】

(株) 印刷学会出版部 担当：古性基樹
info@japanprinter.co.jp
TEL 03-3555-7911

■「公共図書館に対する、電子図書館・電子書籍貸出サービス アンケート調査」及び、「電子図書館・電子書籍貸出サービス調査報告 2019」について



概要

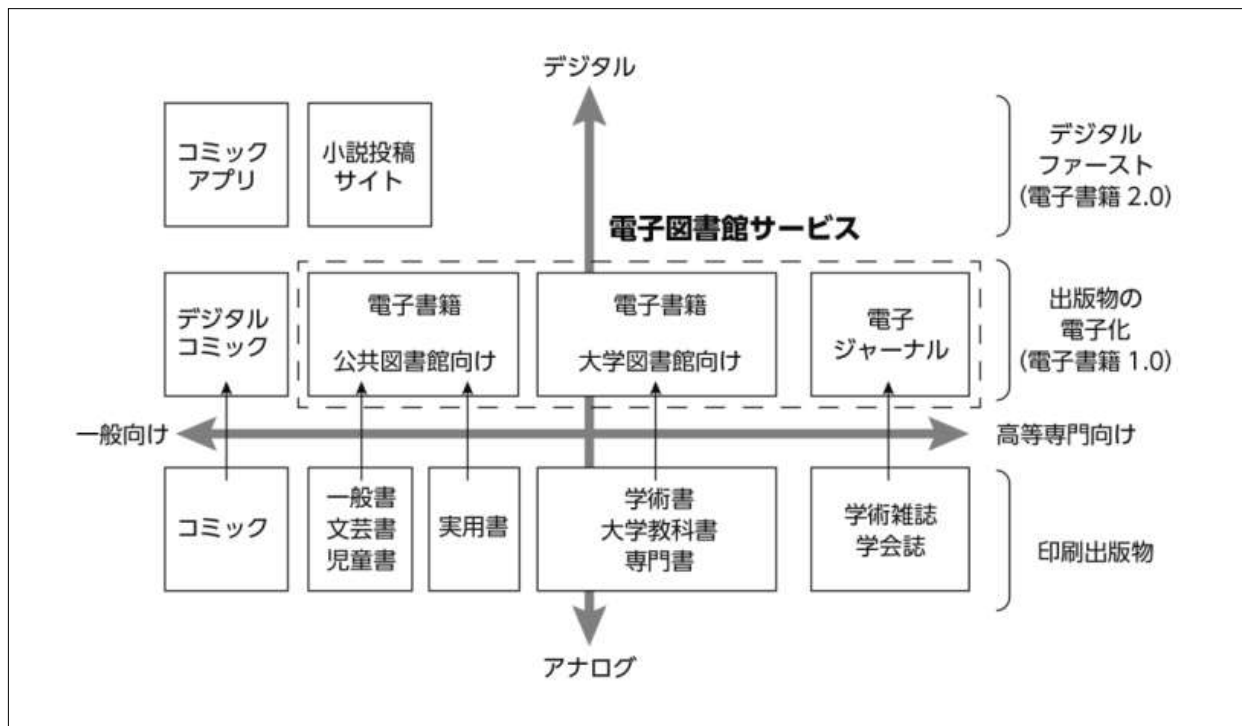
本書は、電子出版制作・流通協議会が行った、公共図書館、大学図書館、サービス提供事業者へのアンケート結果をもとに報告書として発行したものです。

公共図書館のアンケート調査は 2013 年に開始して、今回で 7 回目となりました。

第 1 章 電子図書館サービスの歴史と動向

電子書籍の概念が急速に変化している現在、電子図書館が扱う「電子書籍」についての位置づけについて説明しています。

また、公共図書館と大学図書館のアンケートを行う中で、見えてきた現状と課題、将来展望について記載しています。



第 2 章 公共図書館における電子図書館・電子書籍貸出サービス調査の結果と考察

公共図書館の調査は、全国の公共図書館（メール等で依頼した 988 館）図書館館から回答いただいた 420 館の結果を掲載しています。

第 3 章 大学図書館における電子図書館・電子書籍貸出サービス調査の結果と考察

大学図書館への調査は 3 回目。今回の調査対象は全国の大学で学生数 3,000 名以上の国公私立大学 (237 校) の大学図書館に依頼を行い 147 館からのアンケート結果を掲載しています。

第 4 章 電子図書館・電子書籍貸出サービス事業者へのアンケート調査の結果と考察

電子図書館サービス、電子書籍貸出サービスを行っている以下の 8 事業者のアンケート回答結果を載せています。

第 5 章 電子図書館・電子書籍貸出サービス事業者によるサービスの紹介

公共図書館に対して、電子図書館サービスの提供を行っている、図書館流通センター (LibrariE & TRC-DL)、メディアドゥ (Rakuten OverDrive)、紀伊國屋書店(KinoDen)の最新の内容を紹介しています。

第 6 章 読書バリアフリー法の成立と図書館の対応について

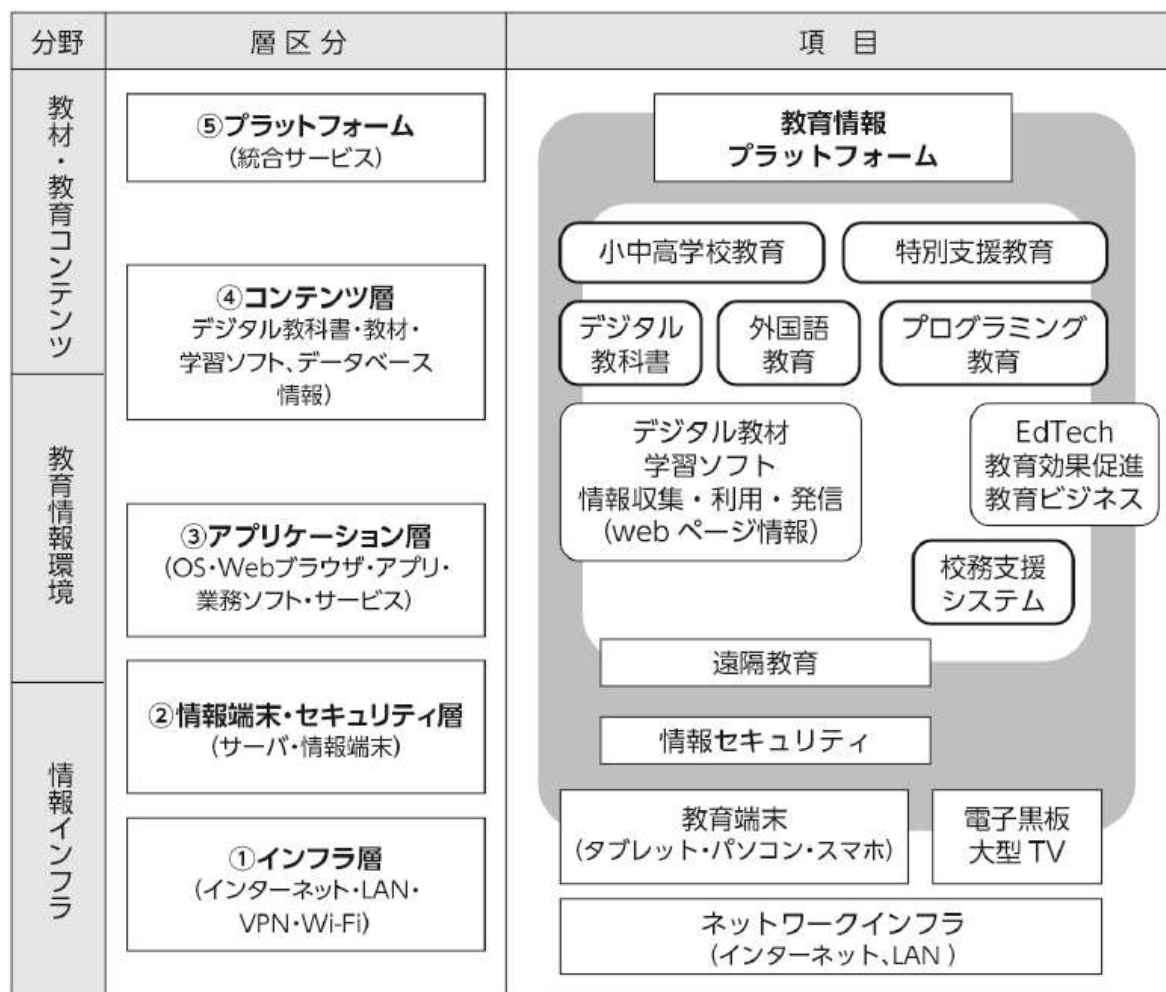
2019 年 6 月に成立した読書バリアフリー法（「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」）について、内容の説明とともに、各条文の位置づけ、国や自治体に対して求められる読書のアクセシビリティや現状の技術についても解説しています。

第 7 章 教育の情報化の動向と図書館の取り組みについて

急速に進みつつある「教育の情報化の動向」について、全体の俯瞰をするとともに、今後期待される電子書

籍の役割や、電子図書館について説明しています。

《参考》 教育の情報化の整理 (本誌調査報告 2019、121 ページ)



第8章 札幌市図書・情報館の新たな取り組み

2018年10月に札幌市の中心部にオープンした「札幌市図書・情報館」について、新図書館の概要と設立理念、実際の活動・活用方法についての説明と、電子図書館サービスなどデジタル資料についての活用について、浅野館長の寄稿記事を掲載しています。

《資料編》

[資料 A] 公共図書館アンケート質問と集計結果

[資料 B] 大学図書館アンケート質問と集計結果

[資料 C] 図書館の電子書籍に関する用語の解説

[資料 D] 公共図書館の電子書籍貸出サービスの動向

公共図書館の電子図書館サービス導入館 全 86 館 (89 自治体) のリスト (2019 年 10 月 1 日 現在) を掲載

なお、電子出版制作・流通協議会ホームページにて全国の公共図書館電子図書館 (電子書籍貸出サービス) 導入館の情報を掲しています

(https://aebs.or.jp/Electronic_library_introduction_record.html)